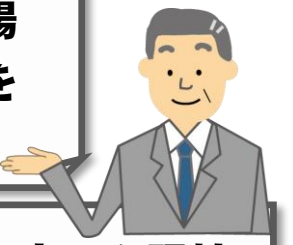
保護者の皆様へ（2022.1.25 Ver.10）　北海道教育委員会

オミクロン株への対応

◎　保健所の積極的疫学調査の重点化により、陽性者の同居者は従前どおり調査対象とされているものの、陽性者の同居者以外の方（クラスメイト、一緒に食事をした友人等）が、当面の間調査対象外となります。



◎　保健所の積極的疫学調査の重点化に伴い、学校で１人でも陽性者が確認された場合は、感染拡大を防止する観点で幅広に学級閉鎖等を行います。

※感染の状況等に応じて学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖等の対応を検討します。

ただし、陽性者と同じテーブルで食事をしていた場合など、「感染の可能性がある者」をリストアップできる場合は、国のガイドラインに基づき、

①同一の学級において複数の児童生徒等の陽性が判明した場合

②陽性者が１名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合

③１名の陽性者が判明し、「感染の可能性がある者」が複数存在する場合

など、学級閉鎖等を行います。



保護者のみなさまにお願いです。

保健所の積極的疫学調査の代わりに、学校は陽性者の聞き取りで発症日（無症状の場合は検体採取日）を確認し、発症日の２日前以降の接触状況に応じて幅広に臨時休業の範囲等を学校設置者が判断しますので、次の点について、ご協力をお願いします。

- **お子様が陽性となった場合や、PCR等検査を受けることとなった場合、必ず学校に連絡をお願いします。**

  ※　PCR等検査は、医師や保健所の指示による行政検査を指しています。民間の検査や保険適用外の検査は含みません。

- **お子様が陽性となった場合は、校外活動で接触のあった友人等のご家庭に連絡をお願いします。**



また、学校は、陽性者の接触者のリストアップをすることがありますので、学校の対応にご協力をお願いします。